



ミートコンパンニオング新社長に阿部昌史副社長、阿部社長は会長に
 (株)ミートコンパンニオングは24日の臨時株主総会および取締役会で、創業以来代表取締役社長として貢献してきた阿部徳次氏を代表取締役会長に、同社副社長の阿部昌史氏を代表取締役社長に選任、4月1日付けで就任する。また執行役員の植村光一郎氏が常務執行役員に昇格する。

新役員体制は次のとおり。代表取締役会長(代表取締役社長) 阿部徳次▽代表取締役社長(副社長) 阿部昌史▽取締役専務(再任) 阿部紀子▽常務執行役員(執行役員) 植村光一郎▽執行役員(同) 福留信行▽監査役(再任) 阿部美穂。

和牛ゲノムのパントライブライ21年度内の設置に向け方針検討

畜産技術協会は25日、和牛知的財産権取得・活用推進協議会にかかる第3回共同研究推進委員会および第2回和牛ゲノム特許活用推進委員会合同委員会を家電会館で開催した。同協議会は19年度から設置されており、和牛に関する知的財産権の効率的な取得および戦略的な活用を図ることにより、日本と和牛遺伝資源の保護・活用に寄与することを目的とし、日本における和牛ゲノム(遺伝情報の全体)に関する共同研究の推進や和牛知的財産の利活用の方などを協議する。会員は、和牛ゲノムに関する試験研究を行う機関に所属する者や、育種改良、飼養管理技術への応用を目的として、和牛ゲノムに関する特許などを活用する者などから構成されている。

協議会は、会員などが保有する和牛ゲノムおよびこれに関連する技術の特許権ならびに実用新案権(いずれも出願中のものも含む)の円滑な活用の促進を通じ、和牛知的財産の戦略的な活用を促進し、特許権などについて会員の間で相互に実施権の許諾などを行う和牛ゲノムパントライブライを21年度末までに設置することとしている。協議会に参加することで各会員などが有する研究人材、サンプル、機材などの相互協力や、研究資源に関する情報のデータベースを利用できるとともに、ライブライに参加した場合には、非営利目的の研究について、無償または合理的な実施料での特許の使用が可能、一括ライセンスの実施料の優遇▽ライブライに登録されている特許権の実施許諾手続きの簡易化などのメリットがある。

当時は▽国内外の研究成果およびサンプルなどの研究資源に関するデータベースをどのように構築していくか▽ライブライの立ち上げにむけた検討事項などについて議論した。今後、今年の夏にも総会を開催し、ライブライの立ち上げに向けた検討が進められる予定となっている。